作成日 : 平成22年1月4日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目析	【目標達成計画】							
優先順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>		
1	1	実践方法について向き合い方に課題がある。		利用者のそれぞれの担当者は達成目標を設け 細か〈チェックしながら日々介護に取り組む。	12 か月	今後を観察していく		
2	2	地域との付き合いが管理者や一部職員に限られた感がある。	職員も積極的に地域住民と交流を深めて行く	地域の行事などには職員も出来るだけ参加して 地域住民との会話や共同作業に従事する。	24 か月	追々実行していく		
3	4	運営推進会議の問題点は仕事との関係で地域代表が全〈参加できない時がある。	現在は自治会を主体に人選しているが趣味の 会とか仲良し会など婦人を主体とする団体に も声かけし必ず推進会議には地域の声が聞か れるようにしたい。	地域の人たちに幅広〈呼び掛け参加して頂いた 機会を捉え運営推進会議の参加理解を深める	12 か月	実行するしか方法はありません		
4	5	他グループホームへの参加はできても場所の都合で当ホームへの来訪要請が出来ない。	増築し場所を確保したい。	現在業者と交渉中です。	6 か月	検討しています。		
5	6	現状では身体拘束は全〈行っていない。従って問 題点や課題は存在しない。	今後も身体拘束は行わない。	禁止の対象となる具体的な行動を正し〈理解するよう努力を重ねる。	か月			

事業所名グループホームコスモス作成日:平成 22年 1月 4日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】						
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容				
		(該当するものすべてに 印)				
	サービス評価の事前準備	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った				
		利用者へサービス評価について説明した				
1 サーヒ		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした				
		運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した				
		その他(
	自己評価の実施	自己評価を職員全員が実施した				
		前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った				
2 自己部		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った				
		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った				
		その他(
	外部評価(訪問調査当日)	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった				
2 加拉拉		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた				
3 以口引		対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た				
		その他()				
	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った				
		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った				
4 評価約		評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った				
		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った				
		その他(
	サービス評価の活用	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した				
		「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)				
5 サーヒ		「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)				
		「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)				
		その他()				